

多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

ORSウイルスが増加傾向です。高齢者や小児に多い感染症で、特に日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、アルコールや塩素系消毒剤で消毒することが重要です。

○施設での新型コロナウイルスの集団感染報告も増えています。平常時からのこまめな手洗い・手指消毒を心掛け、有症状時にはマスク着用などの感染予防対策をしましょう。



保健所からのお知らせ

RSウイルス感染症について

鼻水・咳・発熱といった風邪のような症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、重症化した場合には細気管支炎・肺炎などを引き起こすことがあります。



RSウイルスは主に**接触感染**と**飛沫感染**で感染が広がります。

接触感染は、RSウイルスに感染している人との直接の接触や、感染者が触れたことによりウイルスがついた手指や物品（ドアノブ、手すり、スイッチ、おもちゃ等）を触ったり、なめたりすることで感染することをいいます。

また、飛沫感染は、RSウイルスに感染している人が咳やくしゃみ、あるいは会話などをした際に口から飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことにより感染することをいいます。

基礎疾患を有する小児や、生後6か月以内の乳児、基礎疾患を有する高齢者も感染に特に注意が必要です。

60歳以上を対象としたワクチン、及び生まれてくる子の予防を目的に妊婦に接種するワクチンがあります。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

感染症予防の基本は手洗いです

帰宅時や食事前、トイレの後などには手洗いを実施しましょう。

<手洗いのポイント>

- 手を洗う前には、爪を短く切りましょう。時計や指輪を外してから手を洗いましょう。
- 手洗いは30秒以上をかけて、もみ洗い・すすぎを行いましょう。
- 指先・手のしわ・爪の間は洗い残しが多い箇所です。特に注意して洗いましょう。

